

令和4年度

昭島市立光華小学校

学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】

学校教育目標	◎すすんです子 ○健康な子 ○考える子 ○協力する子	ビザン	【目指す学校像】	子供一人一人の『幸せ』を具現化する学校+教職員一人一人の『働きがい』を具現化する学校
			【目指す児童・生徒像】	どの共同体でも力を発揮できる子(2030年の日本で生きる子供たちへ)
			【目指す教師像】	教育者としての熱意とスキルを併せ持つ教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	児童・教師が「光華遊学」の成果を実感する	「協働的な学び」の具現化	・体験型学習の充実 ・主体性を引き出す課題の提示 ・対話的な学びの充実	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が話し合いにすずんで参加していると回答 3 80%以上の児童が話し合いにすずんで参加していると回答 2 70%以上の児童が話し合いにすずんで参加していると回答 1 60%以上の児童が話し合いにすずんで参加していると回答	3	行事や新規の学習内容等を通じて、高学年を中心に主体的な学びへの意欲が高まりつつある。	・遊学の効果を評価する ・体験型学習のさらなる充実を期待する。	B	教職員一丸となり、より児童主体の学校経営を具体的に推進する。
		「個別最適な学び」の具現化	・ICTの活用スキル向上 ・個に応じた学習方法の保証 ・個に応じた学習評価の工夫	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が授業にすずんで参加していると回答 3 80%以上の児童が授業にすずんで参加していると回答 2 70%以上の児童が授業にすずんで参加していると回答 1 60%以上の児童が授業にすずんで参加していると回答	4	タブレット活用促進もあり、児童の学習意欲は安定している。より個に応じた指導、学習内容の工夫が必要。	・基本的な学習も大事にした上でのICT活用 ・ICT活用はもっと自由な学びを保証すべき。	A	各学年1単元を定め、個別最適な学習を先鋭的に具現化する。
		「考え方のルーティン」の共有化	・「打ち付け」学習の保証 ・熟慮する学習の保証 ・意図的に既習を活用する学習の保証	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 3 80%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 2 70%以上の児童が授業がわかりやすいと回答 1 60%以上の児童が授業がわかりやすいと回答	4	授業のわかりやすさや学習意欲を、学力向上につなげられるかが課題。	・学力調査分析、授業の振り返り、個別学習に注目する ・考えるロジックの構築	B	授業の振り返りと家庭学習をさらに工夫し、知識の定着から再構築する。
豊かな心	多様な見方・考え方を働かせ、自ら楽しさ(ワクワク・ドキドキ)を見い出す心のクセを身に付ける	多様性を認め合う心の醸成	・聞く力・態度の育成 ・特別支援教育への理解 ・人権感覚の育成	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 3 80%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 2 70%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答 1 60%以上の児童が自分や友達を大切にしていると回答	4	この結果は校長講話に連動した担任の指導や特別支援教育の成果と考える。	・ダイバーシティの発想が必要 ・多様性を認め合う空気感がよい	A	すべての教育活動で多様性の相互承認を一層進めていく。
		感性を豊かにする教育の充実	・読書活動の充実 ・芸術的感性への刺激 ・自然・栽培体験の充実	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 3 80%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 2 70%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答 1 60%以上の児童が「本や絵や音楽、自然が好きです」と回答	4	一部の学年で栽培活動が活性化した。読書意欲や芸術的感性をさらに育みたい。	・展覧会の取組を評価する ・読書はクラス間で差がある	A	読書意欲および芸術的な感性を刺激する取組を具現化する。
		最後まであきらめない心(レジリエンス)の醸成	・児童主体の活動保証心 ・形成的評価の充実 ・継続的な活動の工夫	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りがけることができる」と回答 3 80%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りがけることができる」と回答 2 70%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りがけることができる」と回答 1 60%以上の児童が「決めたことは最後まで頑張りがけることができる」と回答	3	この目標は多くの教育活動と連動するため、今後も意図的な見取りが必要。	・児童の関係性が重要・スポフェスなどの行事も大事	A	児童自ら取り組む活動をさらに増やし、その達成感を味わわせる機会を意図的に計画する。
健やかな体	自らの健康を保持・増進する生活習慣の定着	体を動かす喜びの実感	・体育の授業改善 ・元気アップガイドブック活用 ・体育朝会の活用	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 3 80%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 2 70%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答 1 60%以上の児童が「休み時間や体育で遊んだり体を動かしている」と回答	3	イベント的な取組は充実している。日常的な体育の授業改善が課題。	・体育朝会を評価 ・校庭のさらなる活用を ・体力強化に取り組んで	A	授業観察に体育を位置付けるとともに、適時性あるOJTで体育のポイントを共有する。
		生活習慣の改善	・GM60の推進 ・SNSルールの推進 ・食育の推進	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 3 80%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 2 70%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答 1 60%以上の児童が「学校で学んだ安全や知識を生活に生かしている」と回答	3	食育の取組は著しく活性化した。GM60やSNSルールのマンネリ化が課題。	・食育シンポジウムや栽培活動などを評価する ・登校にマイベスな子への支援を	A	食育の定着を図るとともに、児童自身でGM60やSNSルールを考える機会を設定する。
		自他の「性・生命」の尊重	・いじめ防止の推進 ・安全(交通・生活・災害)教育の推進 ・SOSの出し方教育推進	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「学校で学んでいると安心して生活している」と回答 3 80%以上の児童が「学校で学んでいると安心して生活している」と回答 2 70%以上の児童が「学校で学んでいると安心して生活している」と回答 1 60%以上の児童が「学校で学んでいると安心して生活している」と回答	4	全体的には学校生活が安定。SOSの出し方をはじめ、安全教育も学校全体の流れが見えてきた。	・SOSの出し方教育を評価する ・いじめ対応を具体策をわかりやすく示してほしい	A	いじめは許さない強い発信とともに、今年の安全教育を軌道にのせていく。
輝く未来	非認知能力の育成	「自己効力感」の向上 ※次の目標 「自己有用感」の向上	・「あいさつ」の推奨 ・反応、返信の推奨 ・特別活動(係、委員会活動等)の形成的評価	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく見てくれている」と回答 3 80%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく見てくれている」と回答 2 70%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく見てくれている」と回答 1 60%以上の児童が「先生や友達、自分のことをよく見てくれている」と回答	4	校内で自己効力感を高める機運は高まってきた。次のステップへの見極めが次の課題。	・「まずやってみよう!」の精神を評価する ・まず自分を大切にすることから	A	自己効力感・自己肯定感の流れを意識しつつ、次年度当初は今年の成果を継続させていく。
		他者や地域と「つながる」喜びの実感	・外部人材の活用 ・行事への主体的な参加 ・自ら企画する機会の保証	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 3 80%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 2 70%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答 1 60%以上の児童が「人や行事に関わるのは楽しい」と回答	4	地域の資源や人材の活用は活性化した。このリソースを児童の主体性と連動できるかが次の課題。	・地域や外部に学校公開をしてほしい ・コロナ禍での工夫を評価する	B	次年度も地域のリソースは積極的に活用し、チーム光華の厚みを増していく。
		自己を見つめる力の醸成	・キャリアアルバムの活用 ・道徳の授業改善 ・学習の自己評価活動	4 概ね3項目に取り組むことができた 3 概ね2項目に取り組むことができた 2 概ね1項目に取り組むことができた 1 全く取り組めなかった	4 3 2 1	4 90%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 3 80%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 2 70%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答 1 60%以上の児童が「今の自分や、将来の自分を考えることがある」と回答	3	保護者とも共有したキャリアアルバムの活用は成果。核となる道徳の授業改善が課題。	・心をとめる取組を評価する ・キャリアアルバムの認知度が低い。	B	キャリアアルバムの活用は継続。道徳の授業改善策を模索する。